

POWER!

2022年 2月 号外

令和4年(2022年) 2月20日発行
発行所 ● 日本薬剤師連盟 〒160-0004 東京都新宿区四谷4-3 四谷トーセイビル2階 TEL (03) 3225-3100 FAX (03) 3225-3200
発行月 ● 隔月発行

<http://www.yakuren.jp>



東京都(12月14日~17日)

コロナ禍の中で昨年2月にリモート訪問で始まった全国支部訪問活動は、感染対策を徹底するとともに9月末には緊急事態宣言等が解除されたこともあり、多くの都道府県でリアル訪問にて実施することができた。12月中旬に市中感染が確認されたオミクロン株による感染が急拡大し、感染防止対策の徹底や医療提供体制の確保と3回目のワクチン接種が急務となっている。

神谷まさゆき副会長の12月中旬から年末の訪問活動は、東京都と三重県でリアル訪問にて実施された。



三重県(12月21日~24日)

12月中旬から年末にかけての支部訪問活動！

● 東京都(12月14日~17日)
初日は大田区、世田谷区の薬局28か所とチェーン薬局本社1か所を訪問し、夜は八王子市で神谷まさゆき氏を囲む会(23名参加)が開催された。二日目は八王子市の薬局28か所と卸事業所2か所を訪問し、夜はオンライン懇親会(10名参加)が開催された。三日目は北多摩北部医療



かみや 神谷まさゆき副会長 活動報告(12)

支部訪問と並行して
都道府県の会合へも参加！

12月中旬から1月中旬までに開催された都道府県主催の会合への参加は次の通りであった。

北海道(薬剤師連盟ブロック協議会・ウエブ)、兵庫県(若手薬剤師フォーラム・リアル)、大阪府(薬剤師問題議員連盟設立総会・リアル)、富山県(薬剤師連盟臨時役員会・ウエブ)、神奈川県(若手薬剤師フォーラム・リアル)、岐阜県(若手薬剤師フォーラム・ウエブ)、兵庫県(兵庫県薬剤師会・兵庫県病院薬剤師会合同新年互例会・リアル)

● 三重県(12月21日~24日)
初日は鳥羽志摩支部と伊勢支部の薬局25か所を訪問し、夜は支部内ミニ集会(30名参加)が開催された。二日目は伊勢市の卸事業所2か所、多気町の製薬企業、松阪市、津市の関係団体3団体、松坂地域支部と津支部の薬局25か所と病院1か所、三重大学附属病院薬剤部を訪問し、鈴鹿医療大学薬学部では薬学生に講演を行い、夜は支部内ミニ集会ウエブ併用、25名参加)が開催された。三日目は伊賀市の卸事業所2か所、製薬企業1か所、化粧品企業1か所、伊賀支部と鈴鹿亀山支部の16薬局を訪問し、夜は四日市市薬研修会・支部内ミニ集会(60名参加)が開催された。四日目は四日市市の卸事業所2か所、四日市支部と桑名地区支部の薬局21か所を訪問した。

園の薬局36か所と国立市、府中市、小平市の卸事業所計3か所を訪問し、夜は小平市薬剤師会定例会(ウエブ、20名参加)に参加した。四日目は豊島区と新宿区の薬局13か所と文京区の卸事業所1か所を訪問した。

必ず！候補者名を書こう！

比例代表は政党名ではなく
必ず！候補者名を書こう！

参議院選挙の仕組みと投票方法

参議院議員選挙は「選挙区選挙」と「比例代表選挙」があります。

比例代表選挙では当選させたい候補者の獲得票が多ければ多いほど、政党内候補の順位が上がります。

1枚目 選挙区選挙の投票

2枚目 比例代表(全国区)

名前を書かないと
政党内順位が上がらない仕組みです

苗字 名前

その他の活動！

都道府県主催の会合のほか、12月8日にはJPLフォーラム九州ブロック参加者ミーティングにウエブで参加、12月10日には第1回支援団体会議で挨拶、同日日本病院薬剤師連盟木平健治会長と対談、1月4日には福岡県薬業団体連合会と福岡市薬剤師連盟新春講演会で挨拶、1月12日には日本薬剤師会都道府県会長協議会で挨拶、1月13日には沼津市薬剤師会例会研修会で挨拶を行った。

毎日の活動を
Facebookページに掲載！

神谷副会長は、毎日の活動状況を写真とともにFacebookページ「神谷まさゆきの活動日誌」に掲載している
ので、是非閲覧願います。

神谷まさゆき君を応援しよう！！

ホームページ

メールマガジン

LINE公式アカウント

令和4年度 診療報酬・調剤報酬の改定率が決まる!

昨年末の厚生労働大臣と財務大臣による予算折衝の結果、診療報酬本体のプラス改定と公平な各科配分(医科:歯科:調剤=1.0:1.1:0.3)が堅持され、日本薬剤師連盟における地道な政治活動が理解された結果だと捉えている。

- (1) 診療報酬 +0.43%
- ① ②~⑤を除く改定分 +0.23%
 - 各科改定率 医科 +0.26%
 - 歯科 +0.29%
 - 調剤 +0.08%
 - ② 看護の処遇改善のための特例的な対応 +0.20%
 - ③ リフィル処方箋(反復利用できる処方箋)の導入・活用促進による効率化 ▲0.10%
 - ④ 不妊治療の保険適用のための特例的な対応 +0.20%
 - ⑤ 小児の感染防止対策に係る加算措置(医科分)の期限到来 ▲0.10%
- なお、歯科・調剤分については、感染防止等の必要な対応に充てるものとする。
- (2) 薬価・材料価格
- ① 薬価 ▲1.35%
 - うち、実勢価等改定 ▲1.44%
 - うち、不妊治療の保険適用のための特例的な対応 +0.09%
 - ② 材料価格 ▲0.02%

令和4年度政府予算案が閣議決定される!

政府は昨年末の臨時国会において、令和3年度補正予算を成立させるとともに、来年度の予算案を閣議決定した。令和4年度予算は通常国会において成立する見込みとなる。

薬剤師・薬局に係る来年度予算案と令和3年度補正予算の概要を解説する。

1 令和3年度補正予算 (単位:百万円)

- ① 電子処方箋の安全かつ正確な運用に向けた環境整備 933(新規)
- ② 薬局における自宅療養等の患者に対する薬剤交付支援事業 187(R2補正) 1,542
- ③ 全国の薬局情報を全国統一的に管理するシステムの運用等業務

2 令和4年度予算案 (単位:百万円)

- ① 医療情報化支援基金による支援 38,325(新規)
 - 電子処方箋の導入に向けた医療機関・薬局のシステム整備の支援を行う。
 - ② データヘルス改革を見据えた次世代型お薬手帳の活用推進 38(新規)
 - 電子版お薬手帳について、OTC情報の把握・管理等、今後活用が期待される機能についての調査、薬局・店舗販売業等における効果的な活用方法を検討する。
 - ③ 薬剤師の資質向上等に資する研修事業の実施 25(新規)
 - ④ 卒後臨床研修の効果的な実施のための調査検討事業 16 ↓ 9
- ② 調査検討事業 32 ↓ 18
 - ⑤ 薬剤師確保のための調査検討事業 24 ↓ 24
 - ⑥ 一般用医薬品適正使用推進のための研修 5 ↓ 5
 - ⑦ 医薬品適正使用の普及啓発 5 ↓ 5
 - ⑧ 薬局医療安全対策の推進 63 ↓ 63
 - ⑨ 薬剤師養成問題の検討 1 ↓ 1
 - ⑩ 国家資格のオンライン申請調査研究 5(新規)
- ③ オンラインによる申請データについて、書類不備の有無をデータ上で確認する方法等の調査研究を行い、申請データと既存システム等との連携が可能となるようなシステム構築を行うための仕様等を作成する。
- ⑪ 免許登録管理システムの管理運用

自民党・薬剤師問題議員懇談会が開催される!

令和4年1月18日(火)、キャピトルホテル東急において薬剤師問題議員懇談会の世話人会と総会が開催された。

12時から開催された世話人会(鈴木俊一議員、田村憲久議員、衛藤晟一議員、尾辻秀久議員、藤井基之議員)においては、石川県、岩手県、京都府及び長野県の薬剤師連盟から推薦のあった6名の衆議院議員の入会が了承された。

また、16時から同ホテルにおいて開催された総会においては、議員懇談会の会長であった伊吹文明前衆議院議員の後任として、鈴木俊一衆議院議員が新会長に就任することが了承された。

議題の一つである「日本薬剤師会の課題と要望について」の説明に当たっては、まず山本会長から昨年末に決定された診療報酬・調剤報酬改定がプラスかつ公平な改定であったことに対するお礼が述べられ、また、資料とともに配布された神谷まさゆき副会長のパンフレットを示し、次期参議院議員選挙において藤井基之議員の後継者である神谷まさゆき副会長への支援を依頼した。

日本薬剤師会の課題と要望については、日本薬剤師会の森副会長から別記資料に基づき説明がなされ、質疑応答の後に閉会となった。

会員総数233のうち、本人出席80名、代理出席81名であった。



日本薬剤師会における当面の主な懸念事項・課題

- ① 数地内薬局の是正
 - 適切な医薬分業のためには、保険薬局は、経費上はもちろん、保険医療機関からの経済的、構造的、機能的に後回しにしていることが不可欠。
 - 数地内薬局は、療養型当院の主旨からも反するものであり、医療機関と同じ敷地内に立地する薬局は医療機関の調剤所と同一ような機能であり(構造面も含む)、薬局として、また保険薬局として指定すべきではない。
- ② リフィル処方箋の着実・適切な推進
 - リフィル処方箋の運用においては、薬剤師が調剤を実施するが適切に判断することが重要。的確な薬物療法を適切に推進するためには、医師と薬剤師の連携方法についても整備することが重要。
 - また、運用面はもとより、責任の所在のあり方の明確化や法的な定義付けが必要。
- ③ 電子処方箋の着実・適切な推進
 - 電子処方箋の場合であっても、医薬分業のあり方として、医師が患者へ処方内容を確実に伝達する仕組みが不可欠。
 - 電子処方箋により伝達された処方内容を薬剤師が適切に処理していただくことで、患者が確認できる情報が増え、かつ反映することができる。そのためには、電子処方箋で伝達した内容を適切に処理できるような運用面での手続の検討が必要。
 - これらの機能を十分に発揮するためには、令和5年1月からの電子処方箋の運用開始に向けて、通信機器や個人情報保護を担保できるITインフラ整備の推進・充実が必要。

日本薬剤師会における当面の主な懸念事項・課題

- ④ 病院薬剤師に係る処遇改善
 - 医療機関におけるチーム医療が推進に進展し、重要性が増している中で、病院薬剤師の人員不足が問題となっている。
 - 主な原因は病院薬剤師の給与体系(国家公務員の準給表)が低く設定されているためと指摘されており、入院患者が安全で安心な医療を受けるためには、病院薬剤師の処遇改善が必要。
 - 一方、病院薬剤師の人員不足の一因として、薬局勤務の薬剤師が多いという指摘があるが、薬局においても地域偏在の問題があり、これが原因と見られる。
- ⑤ 薬学部における適切な入学定員の在り方
 - 厚生労働省の検討会において、薬学部の入学定員の抑制も含めて適正な定員規模などを早急に検討することが提言された。
 - 薬学部の授業料等の負担の軽減や、卒業生がより薬剤師国家試験に合格できない薬学生が増加していることに対して社会的な指摘があり、こうした現状に鑑み、薬学部の入学定員や科目の見直しを進め、教育の質の向上を図る必要がある。
- ⑥ 薬価改定における適切な対応
 - 製薬企業による新薬の開発意欲を維持し、医薬品の安定供給体制を確保せざるを得ない。インフレーションを踏まえた適切な評価が必要。
 - 中間年の薬価改定は、市場実勢価格を適切に反映させるため、あくまでも薬価と大規模な薬価を是正するもの、実施する場合であっても、薬価と実勢価格の乖離率が著しく大きい品目を、他の品目と同程度の乖離率まで是正する程度に留める必要がある。

日本薬剤師会における当面の主な懸念事項・課題

- ⑦ 新型コロナウイルス感染症関連
 - 引き続き薬剤師は、医療従事者の一員として国の対応に全力で協力している。
 - 薬局においては、抗原検査キットの販売を行うとともに、自宅・宿泊療養者への軽口出療薬の対応等について迅速かつ的確に実施している。
 - 薬局における検査については、薬局が感染源とならないよう、感染防止や感染拡大抑制等について十分配慮しつつ、無料検査事業のほか、国の進める政策に協力している。
- ⑧ その他(規制改革関連事項等)
 - 規制改革会議からの要請
 - イ: 調剤業務の外部委託
 - 調剤業務は、薬剤師において薬剤師の独占業務として位置づけられている薬剤師の本質業務である。調剤業務の外部委託については、別途認められない。
 - ロ: 非調剤業務の拡大
 - 対面薬局が大規模な利用とされる医療分野においてはオンラインを活用することは理解するものの、その際の専門家の関与の方法についてはオンラインありきで議論を進めるべきではない。
 - 一般用医薬品のリスク区分のあり方の見直し
 - 医療用から一般用へのスイッチ化・OTC化の推進は賛成であるが、スイッチ化から一定期間後に自動的にネット販売が可能となっていく現行の仕組みは問題。
 - 感染防止の観点からリスク区分のあり方を検討すべき。

■訂正
令和4年1月20日発行POWER78号3面「薬剤師首長・地方議員意見交換会」にて、出席した議員の一覧内の都道府県に誤りがありました。
お詫び申し上げます。
※本連盟ホームページに訂正版POWER78号を掲載いたしました。(右記コード)